

週間漁海況情報 2026年第1号

令和8年1月6日発行

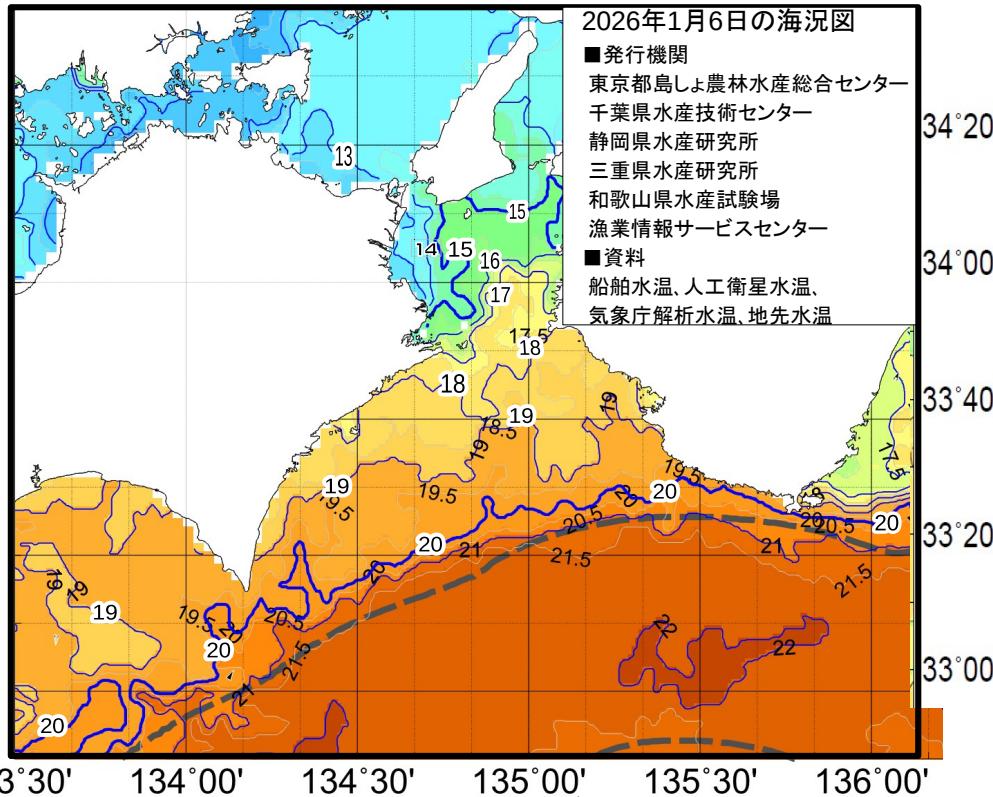
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖30マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は20~22°C台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で12~13、紀伊水道で12~17、海部沿岸で17~18°C台となっている。

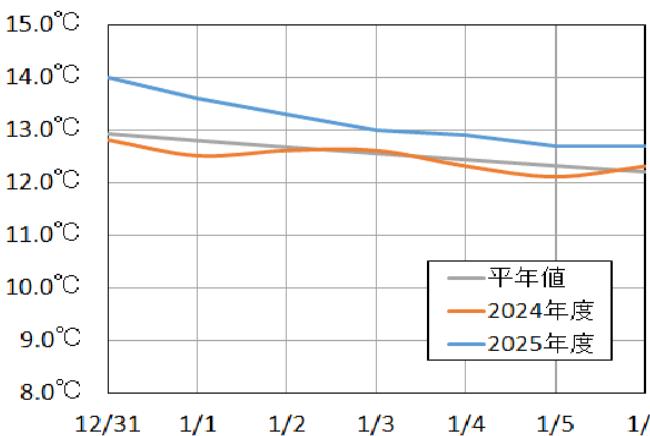


直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

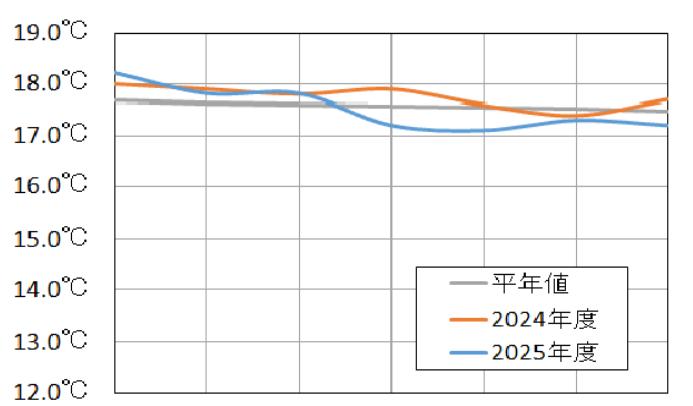
2. 地先水温(12月31日~1月6日)

鳴門地区の水温は、14.0~12.7°Cで「やや高め」から「平年並み」で推移。浅川地区は、18.2~17.1°Cで「やや高め」から「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区的水温差は、4.2~4.6°Cだった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5°C未満、やや高め/やや低め: 平年値±0.5°C以上1.5°C未満
高め/低め: 平年値±1.5°C以上2.5°C未満、かなり高め/かなり低め: ±2.5°C以上

※ 平 年 値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(1月7日~1月13日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門、浅川地区とも「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (12月29日～1月4日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

底びき網では、マナガツオが小主体に0.4㌧水揚げされた。
小型定置網では、マアジが1.2㌧、ブリがめじろ級主体に0.3㌧、
メジナが0.3㌧水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

小型定置網では、すずき類が大主体に0.2㌧水揚げされた。
大型定置網では、メアジが0.4㌧、サワラが小主体に0.4㌧、
ヒラソウダが0.3㌧水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)		銘柄
					1日1隻あたり	平均漁獲量	
紀伊水道	底びき網	9	マナガツオ	361	40	小主体	
		8	マアジ	1,244	155		
		7	ブリ	341	49	めじろ級主体	
		4	メジナ	318	80		
海部沿岸	小型定置網	7	すずき類	211	30	大主体	
		1	メアジ	379	379		
	大型定置網	1	サワラ	364	364	小主体	
		1	ヒラソウダ	260	260		